

河口無線ハイファイディリティ試聴会報告(2013.10.12)
—TASCAM DA-3000 の試聴—

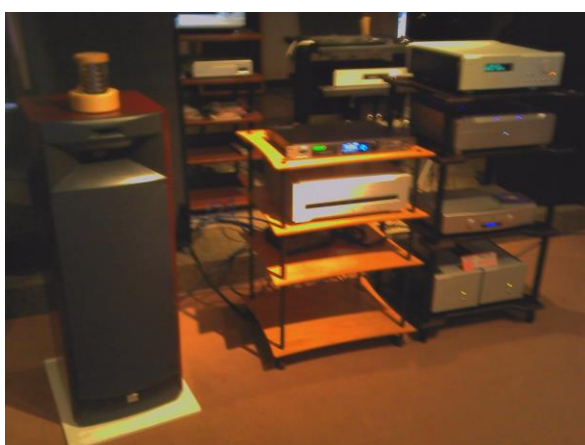
1. はじめに

日本橋の河口無線で行われた、TASCAM のデジタルレコーダーDA-3000 の試聴会に A 氏とともに参加してきました。今回は単に試聴するだけでなく、GPS-777 からの外部クロックがロックすることを確認し、購入の判断をすることが目的で、本報はそれらの経過報告です。

2. 試聴会の進行

今回の試聴会は TASCAM のデジタルレコーダーDA-3000 を対象としたものですが、その仕様は下記サイトに掲載されたとおりです。

<http://tascam.jp/product/da-3000/>



その他の使用機材は以下のとおりです。

ルビジウムワードクロックジェネレーター：エソテリック・G-0Rb

スピーカー：JBL・S-3900 スーパーツイーター：KITHIT・HIT-ST10

プリアンプ：ボルダー・model810 モノラルパワーアンプ：ボルダー・model850

DAC：ロジフルLDAC100 CDP：HEGEL

試聴はSDカードとCFカードから予め録音されたDSDやハイレゾ音源を読み込んで再生することから始められ、G-0Rbからの外部クロック入力効果、HEGELのCDプレイヤーからの録音と再生、ロジフルのDACを通しての再生の他、インプットモニター機能やSRC機能、設定条件表示機能、エラー表示機能などの説明がありました。

3. デモの経過

河口無線で準備した、CD・アナログからの録音済みWAVとDSDの試聴が主でした。44.1KHz, 16bitのWAV、192KHz, 24bitのWAV、DSDの比較では、だんだん良くなることは分かりましたが、内部クロックではDSDが劇的に良いとは言えませんでした。192KHz, 24bitのWAVでG-0Rbからの外部クロック入力効果は十分に評価できるものでありましたが、それほど目覚ましいものではありませんでした。ロジフルのDACへの出力もされましたが、DA-3000の内蔵DACに比べて目覚ましい音質向上は認められませんでした。

HEGELのCDPからのインプットモニターや192KHz, 24bitのWAVの録音再生も行われ、最後に持参DSD音源も試聴でき、G-0Rbの外部クロック入力効果を確認できました。

4. 試聴会終了後の確認

デモが終わってからGPS-777からの外部クロック入力のテストも問題なく、持参したDSD音源の再生で音質確認を行いました。BS録音・アナログ録音とも残った参加者に好評で、G-0Rbをはるかに上回る音質向上効果が認められました。河口無線準備の音源と当方音源の違いは河口無線はDA-3000使用、当方はMR-2000sBK使用ですが、録音時の外部クロック入力の有無が音質に出ているように感じました。その他USBメモリーからの再生、SDカードとCFカードから持参したUSBアダプターを通じての再生も可能なことも分かりました。

5. まとめ

DA-3000は操作性、音質とも満足のいくものであり、MR-2000sBKとDA-3000の音質の違いの第一印象としては、内部クロックでは前者は少し反応の鈍い音、後者はメリハリがあり、きつめの音ですが、GPS-777のクロック入力では両方とも目覚ましく変化し、前者は穏やかな暖かい音、後者は抜けが良く透明感に優れていると感じました。高価なESOTERICのRbクロックG-0Rbは効果はあるものの、あまりに

高価なため、コストパフォーマンスは相対的に低いと思われます。今回、GPS クロックとの1:1評価ができたことは収穫でした。

以上から DA-3000 の購入を決断し、入手後、その操作性や音質を評価していく予定です。

ちなみに同行の A 氏は早速 1 台しかない在庫品を求められ、翌日の A 氏宅での試聴に備えられることとなりました。

以上